

看護学からのお知らせ

日本看護研究学会を開催

9月5・6日、本学の岡美智代教授を会長として日本看護研究学会第52回学術集会をGメッセで開催しました。

「語り合おう、看護の近未来」をテーマに、順天堂大学大学院スポーツ科学研究科教授の谷本道哉先生の市民公開講座「人生110年時代を目指す裏切らない体づくり」、合理的配慮、AIリテラシーなど幅広いテーマの講演やシンポジウム、研究方法ミニレクチャー、一般演題の看護研究発表などが行われました。



左：岡美智代会長 右：来賓 安中市長 岩井均様

留学生と一緒に楽しく実習

看護学専攻には、フィレンツェ大学から留学生が学びに来ています。8月下旬～11月までの約3カ月間、実習や講義、演習を一緒に行います。

この夏、看護学専攻では、1年生は「生活を理解する実習」、2年生は「生活を理解・支援する実習」と「基礎看護学実習」を行いました。

子どもから高齢者まで様々な年代の方々が、入院治療から地域での生活まで様々な場所でどのように暮らしているのかを学ぶ貴重な機会になりました。関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



群馬大学医学部保健学科及び大学院保健学研究科【看護学、生体情報検査科学、リハビリテーション学(理学療法学・作業療法学)】では、社会の課題解決を目指して、研究、教育、地域保健活動、国際保健活動に積極的に取り組んでいます。また、これらの活動を進めるための組織として保健学研究科附属研究・教育センターが設置され、このセンター内には5つの推進室があります。今回は看護学からの報告になります。

私たちの活動を**保健学科公式インスタグラム@gunmahealth**も併せてご覧いただければ幸いに存じます。

